企業活動を子どもたちに効果的に伝えるためのデザイン

Keyword : CSR活動、広報活動、企業の教育貢献、授業・教材デザイン

研究の概要

本研究では、大きく以下の2つの研究を行っている。

1. 企業活動を子どもたちに効果的に伝えるための授業デザインの研究

さまざまな企業と連携し、各教科や総合的な学習の時間などの授業や教材をデザイン、実践し、それらを定量的・定性的に評価している。

例えばこれまでに次のような授業デザイン・評価を行った。

- ・通信会社と連携した情報モラル教育の授業デザイン・実践・評価
- ・ゲーム会社と連携したキャリア教育の授業デザイン・実践・評価
- ・電機メーカーと連携した環境教育の授業デザイン・実践・評価
- ・電機メーカーと連携した理科教育の授業デザイン・実践・評価
- ・自動車メーカーと連携したものづくり教育の授業デザイン・実践・評価

2. 企業における教育貢献活動に関する研究

企業で教育貢献活動を推進していくための方法、例えば、教育貢献コンテンツの作成、社内でのコンセンサス獲得、活動の定量的評価などについて実践的に研究している。

2011年度は、以下のような授業、教材のデザインを行った。

①エスパルスドリーム教室

（株）清水エスパルス、静岡市スポーツ振興課と協働で小中学生を対象にエスパルスドリーム教室を行った。

「サッカーで学ぶ算数」、「サッカーで学ぶ体のつくりとはたらき」、「ファンサービスを考えよう」など、様々なテーマで、（株）清水エスパルスの取り組みを紹介する授業のデザインを行った。（写真は授業の様子）

②静電気について学ぼう

静電気対策・ホコリ対策に革新的な技術で挑む（株）TRINC（本社：浜松市）と協働で、子どもたちにTRINCの除電技術を学んでもらうため、「静電気」をテーマにした教材のデザインを行った。（写真は開発した教材）

③キッズエンジニアなろう

子どもたちにものづくりの楽しさに気づかせ、自動車、バイクへの興味を持たせるため、スズキ（株）と協働で、エンジンの仕組み、分解、組立を分かりやすく紹介する教材のデザインを行った。（写真は開発した教材）

アピールポイント

・特筆すべき研究ポイント：

従来、こうした企業と連携した授業デザインに関する実践的な研究はほとんど行われていないことから、実践的な研究自体が特筆すべき事項である。また、研究体制として、実践的研究を進める研究者が中心となり、こうした研究に関心のある企業、学校、学生をネットワーク化するNPOを立ち上げ，研究を行っている。詳しくは以下を参照。

NPO法人企業教育研究会　http://ace-npo.org/

研究・開発を研究者が、普及をNPOがそれぞれ担当することで、継続的な授業の実施が可能となっている。

塩田　真吾

学術院教育学領域
学校教育系列
准教授

■ 技術相談に応じられる関連分野

・CSR活動に関するマネジメント
・広報
・社員教育

■ その他の研究紹介

・ 生体計測を用いた学習効果の定量的評価に関する研究
・ 創造性教育に関する研究